

研修のねらい

- 政策情報を戦略的かつ効果的に発信する手順と手法を身に付け、実践の場で活用できるようにします。
- 理論と実践(事例紹介)、その実用化のためのワークショップという3構成で効果的に学びます。
- ブランディング、マーケティング、コミュニケーションのためのターゲティングを体系的に学びます。

政策実現には住民の理解と協力が不可欠です。そのために、政策情報を戦略的かつ効果的に発信する手順と手法を身に付け、一方的な情報発信ではなく、「伝わる」コミュニケーションを実践する必要があります。

この研修では、ビジネス的アプローチ、アカデミック的アプローチの両端から、ブランド構築のためのブランディング、マーケット開発のためのマーケティング、コミュニケーションのためのターゲティングを体系的に学び、それらを基に政策情報発信の設計図を作成します。さらに、グループ発表と講師講評を通して理解を深め、実践につなげます。

ビジュアル性に長けた研修素材(講義スライド、映像資料、配布資料等)により視覚と聴覚を刺激し、講義、ワークショップ、発表など、「聞く・語る・話す」のバランスを重視した研修です。

※ 下記の内容は一例です。ご要望にあわせてカリキュラムをご提案いたします。

1日コース

午前	<p>1. 自治体にとってブランドとは何か</p> <p>(1) 知覚品質と感覚品質</p> <p>(2) ブランドデザイン、他</p> <p>2. 自治体にとってマーケットとは何か</p> <p>(1) 市場開発と市場開拓</p> <p>(2) 市場インサイトの見つけ方・つくり方</p> <p>(3) ソーシャルマーケティングとターゲティング、他</p> <p>3. 自治体にとってコミュニケーションとは何か</p> <p>(1) 共通アプローチと個別アプローチ</p> <p>(2) コミュニケーションの体系と公式</p> <p>(3) 戦略的な媒体選定、他</p>	
午後	<p>4. 戦略のマーケティング・戦術のコミュニケーション</p> <p>(1) 戦略策定(ソーシャルマーケティング)</p> <p>(2) 戦術企画(行動科学的アプローチ)</p> <p>(3) 実践指導(コミュニケーションガイド)</p> <p>5. 情報構築の仕方・コミュニケーション開発のポイント</p> <p>(1) マスメディアの活用方法</p> <p>(2) ソーシャルメディアの活用方法</p>	<p>6. 政策情報発信の設計図をつくる</p> <p>◇ チーム内の方針検討 ◇</p> <p>◇ 個人ワーク ◇</p> <p>◇ チーム内の意思決定 ◇</p> <p>◇ グループワーク ◇</p> <p>◇ グループ発表・講師講評 ◇</p>